

資源ごみ

リサイクルに協力しましょう。

月1回

ビン類

袋に入れず、直接収集専用容器に出してください。

- ① 対象となるビンは、飲・食料品が入っていた空きビンおよび化粧ビン(乳白色のものを除く)ビンのフタを取り、水洗いします。
- ② 取ったフタは、樹脂製なら「燃えるごみ」、金属製なら「燃えないごみ」に分けて出します。
- ③ 収集容器に「無色・茶色・その他の色」の色別に分けて入れてください。



ビン類・缶類
資源ごみ

月1回

缶類

袋に入れず、つぶさずに直接収集専用容器に出してください。

- ① 対象となる缶は、飲・食料品が入っていた空き缶およびスプレー缶・カセットボンベです。
- ② 中身が残らないよう水洗いして、収集容器に直接入れてください。
- ③ スプレー缶、カセットボンベは、中身を使いきり穴を開けて出してください。
- ④ 塗料缶(スプレー式でないフタ式のものは中身を使いきり、「燃えないごみ」で出してください。



スプレー缶、ガスボンベに注意!

収集車の火災や処理施設で重大な事故を起こす危険があります。スプレー缶、ガスボンベ(カセットコンロ用など)は必ず中身を使い切り、屋外など安全な場所で穴を開けて資源ごみ(缶類)の日に出してください。プラスチック製スプレー容器は、「ライター」「乾電池」の収集容器へ穴を開けずに入れてください。



資源ごみ

リサイクルに協力しましょう。

月1回

新聞・雑誌・ダンボールは収集時間が異なります。

新聞



※雨の日でも収集します。

- ① 新聞には、新聞の折込チラシを含みます。
- ② ひも等で束ねて出してください。

雑誌



※雨の日でも収集します。

- ① 雑誌には、書籍・月刊誌・週刊誌・百科事典 その他 雑紙類等を含みます。
※その他雑紙類とは…コピー紙、包装紙、封筒・はがき、メモ用紙、紙切れ [加工紙 (防水加工紙、カーボン紙、シール、写真、感熱紙、油紙など) や 汚れのひどい紙はリサイクル出来ません。]
- ② ひも等で束ねて出してください。

ダンボール (紙箱類含む)

※雨の日でも収集します。

※紙箱類とは…菓子箱、ティッシュペーパーの箱 (ビニールははがず)、厚紙類など

- ① 組み立て時に使用されているガムテープ、留め金具をはずし、平らな状態にして収集日まで保管ください。
(はずしたガムテープは「燃えるごみ」、留め具は「燃えないごみ」として指定日に出してください。)
- ② ひも等で束ねて出してください。



家庭でできるごみの減量

混ぜればごみ・分ければ資源

【どんな紙でもリサイクル運動】

燃えるごみに含まれる「紙類」は、重量よりも容量が大きく、ごみ箱の約40%を占めます。ごみ箱から紙類を抜き取ることで、ごみ箱のごみの量がこれまでの半分くらいに減ります。包み紙・使用済の封筒・パンフレット・チラシはもとより、メモ用紙・不定形の紙・お菓子の箱・ティッシュの箱など、リサイクルできる紙はすべてごみ箱に捨てずにリサイクルしましょう。分別の工夫としては、ごみ箱の横に古紙専用の「リサイクル紙くず入れ」を空き箱などで作っておきましょう。また、小さな紙くずは、雑誌にはさむか、空き封筒に入れて出すのも一つの工夫です。市では紙類を資源ごみ集団回収団体奨励金の対象にしていますので、是非、制度をご活用いただき、地域ぐるみで『どんな紙でもリサイクル運動』に取り組みましょう。

分 類	新聞	新聞 チラシ・広告類
	雑誌類 (雑紙類)	雑誌・パンフレット
		包装紙
		封筒・はがき
		コピー用紙
		メモ用紙・紙切れ
	ダンボール類	ダンボール
		厚紙
		ティッシュ箱
		菓子箱



※加工紙 (防水加工紙、カーボン紙、シール、写真、感熱紙、油紙など) 汚れのひどい紙、シュレッダーされた紙はリサイクル出来ません。

資源ごみ

リサイクルに協力しましょう。

月1回

ペットボトル

※袋に入れずつぶさずに直接収集専用容器に出してください。

- ① 対象になるペットボトルには、材質表示マークがついています。
飲料・酒類・醤油の容器が対象になります。



- ② ペットボトルは、フタを取ります。
取ったフタ（プラスチックのものだけ）は、
まとめて別の袋に入れ収集容器の横に出してください。
- ③ ペットボトルは、中身が残らないように水洗いして、ラベル（フィルム）をはがし収集日まで保管します。（ラベルは、燃えるごみ）
- ④ 収集日に、収集容器に直接出してください。
このときペットボトル以外のものを入れないでください。

ペットボトル・紙パック
ライター・乾電池
資源ごみ

紙パック

※雨の日でも収集します。

- ① 対象になる紙パックは、中が白色のものです。

※内側がアルミでコーティングしてあるもの（内側が銀色のもの）は対象になりません。
燃えるごみに出してください。



- ② 紙パックで、フタのついているものはフタの部分を切り取ります。
取ったフタは、「燃えるごみ」に出します。
- ③ 紙パックは、中身が残らないように水洗いします。
- ④ 水洗いした紙パックは開いて乾かします。
- ⑤ 開いて乾いた紙パックは収集日まで保管します。 ※水洗いや乾燥が不十分だと保管中に臭い等が発生する原因になります。
- ⑥ 収集日に、ひも等で束ねて出してください。
このとき紙パック以外のものを入れないでください。

ライター・乾電池

※収集容器に直接入れてください。

プラスチック製スプレー容器

※ボタン電池は、大型量販店などの販売店回収ボックスへ

- ① ライター、乾電池、プラスチック（非金属）製スプレー容器
（噴霧にガスが使われているもの）を、収集容器に入れてください。

※ライター・プラスチック製スプレー容器は使い切って出してください。

※プラスチック製スプレー容器は、そのまま 穴を開けずに「ライター」「乾電池」の収集容器へ入れてください。

